

一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会
平成31年 新年交礼会開催



一般社団法人 愛知県産業廃棄物協会 平成31年 新年交礼会が、1月9日（水）午後5時からANAクラウンプラザホテルグランコート名古屋（名古屋市中区）にて会員369名が出席して開催されました。来賓として国会議員・県会議員、行政担当部局幹部、関係団体役員の方々33名のご出席を賜りました。

新年交礼会は小島 晃副会長の開会の辞で始まり、年頭の挨拶で永井良一会長は「あけましておめでとうございます。皆様におかれましては、ご家族共々清々しい新年を迎えられ益々ご清栄のことと心より



新年の挨拶を述べる永井会長

お慶び申し上げます。また、本日は新年の大変お忙しい中愛知県知事 大村秀章様、国土交通大臣政務官自由民主党衆議院議員 工藤彰三様、自由民主党政務調査会副会長参議院議員 酒井庸行様、自由民主党愛知県議会議員 直江弘文様、環境省中部地方環境事務所所長 秀田智彦様をはじめ多くの来賓の皆様にご出席を賜り誠にありがとうございます。また、日頃より当協会の諸活動に対しご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。昨年を振り返りますと、1月31日に環境省が廃棄物規制課内に「産業廃棄物処理業振興チーム」を設

置し、「全産連の要望、優良認定制度のあり方の見直し、振興方策提言の具体化」について検討し、出来るところから実施に着手していく方針を打ち出しています。また、10月25日には産業・資源循環議員連盟プロジェクトチームの第1回目の会合が開かれ、業界の最重要課題である「人材の育成・確保」と「再生品の利用促進」の検討、11月29日には第2回目の会合を開催し、適宜関係省庁と有識者のヒヤリングを行い、平成30年度内を目途に取りまとめを行うこととしています。このことは産業廃棄物処理業が循環型社会形成のインフラ産業として、業界の益々の振興を目指し、業法の整備に向けた大きな一歩を踏み出したことは大変喜ばしいことだと思います。本年は更に一歩進め、具体的な法案検討、そして、国会への法案上程に向けて関係者への働きかけなど、全産連と一体となり、実現に取り組んで行くこととなります。最後になりますが、皆様のご健勝とご多幸を心よりご祈念いたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。」と述べました。

来賓の挨拶では愛知県知事 大村秀章氏より「日頃から愛知県の環境行政、とりわけ廃棄物の適正処理にご尽力いただき心から感謝を申し上げます。皆様のお力で3Rの社会を構築し、産業日本一愛知は環境面でも日本一でありたいと願っ



新年の挨拶を述べる
大村愛知県知事

ています。それをまさに日々支えていただいているのは愛産協の皆様でございます。どうか今年一年も何卒よろしくお願ひ申し上げます。愛知県は循環型社会形成に向けまして資源循環の新たなモデルの構築、海洋ゴミの発生と食品ロスの削減対策など様々に取り組んでおります。廃プラスチック対策につきましては生態系への影響のほか、中国の輸入禁止措置により、この愛知におきましても廃棄物として処分に回さざるをえなくなり、処理料金が上がったという声が聞かれております。皆様もいろいろな声に直面されていると思います。今後県内におきまして、不法投棄や不適正な処理が行われなように協会の皆様としっかり連携し、対応していきたいと思しますので何卒よろしくお願ひ申し上げます。今年一年の皆様方のご繁栄をご祈念申し上げてお祝いのご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

国土交通大臣政務官自由民主党衆議院議員 工藤彰三氏からは「今私たちは“i-Construction”を進めています。つまりICT技術を全面的に活用し、建設現場の生産性向上に向けAIを駆使して建設現場

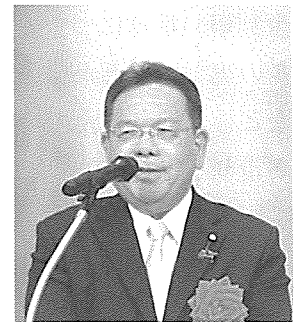
での作業中、いかに簡素で事故がないようにすべきか研究しているところです。産廃業界での事例であれば災害地区で災害廃棄物の現場に入り、撤去作業中に土砂災害に巻き込まれるという二重の事故例があります。現在リモコンによ



新年の挨拶を述べる
工藤衆議院議員

る遠隔操作で、シャベル作業、そのシャベルで掘りあげた土砂をダンプの荷台への積み込み作業など、リモコン操作での検証がされています。国土交通省の新たな取組である“i-Construction”により企業の経営環境の改善、作業現場の安全性の確保等を推進していきたいと考えております。しかし災害現場における搬入搬出車両とドライバーの手配が課題となり、そこで愛産協の皆様のお力をお借りしたいと思っておりますのでよろしくお願ひします。当協会が今年は益々発展されることをご祈念申し上げます。」と述べました。

自由民主党政務調査会副会長参議院議員 酒井庸行氏からは「廃棄物処理法が2020年で50年目を迎えるということも知りました。その2020年に向けて振興策を提言されるということでもあります。全国で産業廃棄物が4億トン排出され、これらの処理をし



新年の挨拶を述べる
酒井参議院議員

〈平成31年 新年交礼会ご来賓〉(順不同・敬称略)

愛知県知事	大村 秀章	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 副会長	岩間 雄一
国土交通大臣政務官自由民主党衆議院議員	工藤 彰三	公益社団法人 静岡県産業廃棄物協会 専務理事	松浦 敏明
自由民主党政務調査会副会長参議院議員	酒井 庸行	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 会長	木村 亮一
愛知県議会議員	直江 弘文	一般社団法人 三重県産業廃棄物協会 専務理事	筒井 照雄
環境省中部地方環境事務所 所長	秀田 智彦	一般社団法人 愛知県建設業協会 専務理事	大西 克義
環境省中部地方環境事務所 廃棄物・リサイクル対策課 課長	水原 健介	一般社団法人 中部経済連合会 産業振興部長	祖山 薫
環境省中部地方環境事務所 廃棄物対策等 調査官	板倉 克宏	愛知県中小企業団体中央会 労働企画部長	太箸 俊一
愛知県環境部長	森田 利洋	愛知県衛生事業協同組合 理事長	永田 喜裕
名古屋市環境局事業部廃棄物指導課 課長	浅井 隆行	愛知県衛生事業協同組合 事務局長	伊藤 勝至
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 理事長	粥川 長司	名古屋市一般廃棄物事業協同組合 理事長	新美 三良
一般社団法人 岐阜県産業環境保全協会 専務理事	伊藤 誠紀	名古屋市一般廃棄物事業協同組合 事務局長	工藤 淳

ていくことは非常に公共性の高い事業です。中小企業が多い中、人材の育成、雇用の問題など課題が山積していると思いますが、永井会長は国へ振興方策提言の具現化を図っております。私も議員として提言を受けしっかりと法案にのせ前に進んでいきたいと思っております。結びになりますが今年一年皆様方にとりまして良い年でありますよう、皆様方のご繁栄を祈念申し上げます。」と述べました。

環境省中部地方環境事務所所長 秀田智彦氏からは「昨年7月に近畿地方環境事務所から転任してまいりました。本日は会場を見渡しますと各テーブルに3010運動と黄色い三角柱が全て貼ってあるのを発見しまして大変胸が熱く



新年の挨拶を述べる環境省中部地方環境事務所 秀田所長

なる思いであります。皆様自身が食品ロスをなくしていこうという決意を、身を以て具現化されているようで有難く思います。愛知県産業廃棄物協会の皆様には常日頃より産業廃棄物の適正処理の徹底や再生利用の推進につきまして、不法投棄監視パトロールの実施ですとか撤去作業、マニフェストの普及など種々取り組んでいただいております。この場をお借りしまして改めて御礼申し上げます。また先般ニュースなどで報道がありましたが名古屋港にあります国指定の藤前干潟鳥獣保護区の不法投棄物撤去活動に積極的にご参画いただきまして昨年も大変多くの方にご参加いただきまして、さらにごみの運搬車両など出していただきまして大変ありがとうございました。昨年の4月に第5次の環境基本計画が閣議決定されましてさらに第4次循環型社会形成推進基本計画も決定をされました。今回の計画では持続可能な社会づくりの総合的取り組みの将来像について7つの方向性が示されましてその方向性ごとに具体的な数値目標ですとか期待される役割、連携のあり方、国が実施すべき取り組みなど具体的に記載されております。また国以外の役割につきましても地方公共団体、国民の皆さん、NPO、NGOの皆さん、

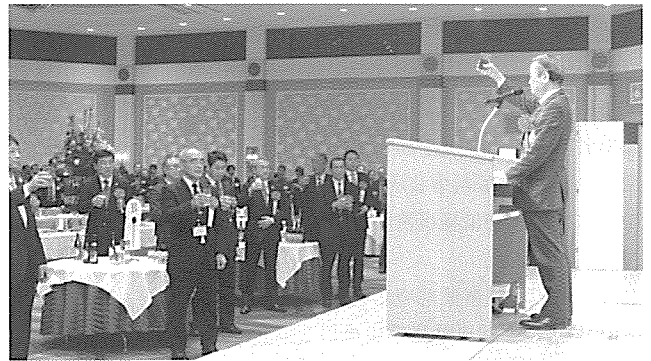


ご出席された来賓の方々

大学など学術研究機関、事業者の皆さんそれぞれ毎に取り組みについて期待する役割が記載されておりまして、今後は引き続き皆様のご協力を得ながらどんどん進めていければと思っております。最後になりましたが本日お集まりの皆様のご健勝を心からお祈りいたしまして新年のご挨拶とさせていただきます。」と述べました。

その後欠席された片山さつき氏のメッセージが代読され、来賓としてご列席された方々のご紹介がありました。

愛知県議会議員 直江弘文氏からは「愛産協の名称が2021年1月に（一社）愛知県産業資源循環協会に改称され、皆様方の事業が社会に大きく認知されると思います。昨年の愛知県のものづくり工業製品出荷額は第45兆円で全国第1位、圧倒的にもものづくりの県です。物を作れば必ず廃棄物が出ますので皆様の力が必要です。国に貢献をされているという自信を持ち頑張ってください。では、皆様のご活躍と発展を祈念いたしまして、乾杯！」と発声がありました。アトラクションはライブパフォーマンス ベリーダンスが披露され、閉会の辞は平沼辰雄副会長の中締めで新年交礼会はお開きとなりました。



直江愛知県議会議員の発声で乾杯が行われました。